

《担当者名》看護福祉学部

教授 / 三国 久美 准教授 / 木浪 智佳子 講師 / 加藤 依子
 准教授 / 常田 美和 講師 / 遠藤 紀美恵 助教 / 川崎 ゆかり
 准教授 / 明野 伸次 助教 / 横川 亜希子 助教 / 新見 千穂 助教 / 米川弘樹

【概要】

本講の目的は、対象者の健康的な生活の回復・維持に必要な知識と技術を理解することである。講義や技術演習を通して、様々な健康レベル・発達段階の対象者（地域住民、疾患・障害をもつ人、母子）の生命の営み（食事、排泄、睡眠と活動など）、生活、生涯を支援するために必要な基礎的知識と技術を学び、多職種が協働する場における歯科衛生士に期待される役割を考える。

【学修目標】

1. 人々の健康生活をめざす看護実践のあり方と歯科衛生士の役割・機能を比較し、その共通性を説明できる。
2. バイタルサイン測定の実際を経験し、対象者の健康状態を捉える方法の基本的事項を説明できる。
3. 母子の特徴と母子へのケアを学び、母子の健康を理解する多様な視点について説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	看護学の基本概念	看護学の基本概念と看護職の役割	明野 伸次
2	看護学の基本概念	看護実践のあり方と歯科衛生士との違いおよび共通性	明野 伸次
3	生命の営みを支える日常生活行動の理解	生命の営みを支える日常生活行動 動く / 食べる	明野 伸次
4	生命の営みを支える日常生活行動の理解	生命の営みを支える日常生活行動 排泄する / 清潔	明野 伸次
5	対象者の健康状態を捉える方法	バイタルサインズとは 体温、脈拍、呼吸、血圧、意識状態	明野 伸次
6	対象者の健康状態を捉える方法	バイタルサインズの測定（演習） 体温、脈拍、呼吸、血圧	明野 伸次 横川 亜希子 新見 千穂 米川 弘樹
7	小児看護の実際	子どもの発達と看護	三国 久美
8	小児看護の実際	子どもの権利を尊重した看護	加藤 依子
9	小児看護の実際	障がいを持った子どもと家族の看護	木浪 智佳子
10	母性看護の実際	妊娠期から分娩期までの女性の看護	遠藤 紀美恵
11	母性看護の実際	リプロダクティブ・ヘルス/ライツ	常田 美和
12	小児看護の実際	小児看護の基本となる技術 乳児の抱っことおむつ交換（演習）	三国 久美 木浪 智佳子 加藤 依子 川崎 ゆかり
13	小児看護の実際	小児看護の基本となる技術 子どもの身体計測と体格のアセスメント（演習）	三国 久美 木浪 智佳子 加藤 依子 川崎 ゆかり
14	母性看護の実際	新生児のバイタルサインズ	常田 美和 遠藤 紀美恵
15	母性看護の実際	新生児のバイタルサインズ 演習	常田 美和

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		まとめ	遠藤 紀美恵

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

筆記試験 60%、小テストと課題レポート40%

【教科書】

全国私立歯科大学・歯学部付属病院看護部長会編 「歯科衛生士のための看護学大意（第3版）」医歯薬出版 2012年

【参考書】

1. V.ヘンダーソン著 湯楨ます他訳「看護の基本となるもの」再新装版 日本看護協会出版会 2016年
2. 菱沼典子著「看護形態機能学」日本看護協会出版会 2007年

【学修の準備】

1. 授業の進行にそって、事前に教科書「歯科衛生士のための看護学大意」の各章を熟読する。（120分）
2. 授業で配布される資料はファイルにまとめ復習をし、いつでも活用できるように携帯する。（120分）
3. 指定の授業終了時に「ミニレポート」あるいは「小テスト」を実施するので、必ず予習・復習を行い、授業に臨む。

【実務経験】

明野 伸次（看護師）、横川 亜希子（看護師）、新見 千穂（看護師）、米川 弘樹（看護師）、三国 久美（保健師）、木浪 智佳子（看護師）、加藤 依子（看護師）、川崎ゆかり（看護師）、常田 美和（助産師）、遠藤 紀美恵（助産師）

【実務経験を活かした教育内容】

- ・病院での看護師、母子ケア領域の看護師・保健師・助産師としての実務経験を活かし実践的教育を行う